

スタートアップセミナー2024

ASG活動紹介及びIVIのPR活動報告

木村 和生 総合企画委員長(東芝エレベータ)

インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ

◆ ミッション

1. 会員に対するサポート全般（いわゆる かけこみ寺）
2. 先進研究分科会の運営
3. IVIのプレゼンスの拡大・維持
4. 情報発信・広報：ホームページ、プレスリリース、メルマガなど
5. 提携団体との共同事業の推進：講演、出展、コンテンツ提供など
6. 公的外部資金獲得・渉外

◆ 体制・運営

- 6名＋事務局（今後増強予定）
月1定例会 ＋ 公開シンポジウム準備時期は実行委員会と連携

◆ お願い

会員の方も、そうでない方も、
「あれが足りない」、「これはいらない」、「こうしてはどうか」を忌憚なくお寄せください。 office@iv-i.org 宛



先進研究分科会(ASG)紹介

Advanced Study Group

&

テーマ募集

◆コンセプト

業務シナリオWGは現場のニーズ起点 } 卓越したニーズとシーズをマッチングさせて「ものづくり」を高度化する
ASGは解決のシーズ起点

IVI規則011 先進研究分科会(ASG)活動に関する規則 より
第2条 (定義)

ASG は、新しい技術やソリューションに関して、実際の機能検証や適用先の検討は、これからというものを対象に、情報や知見を得るための活動を行うための組織である。

◆運営原則

1. 活動は原則1年間、最大3年間
2. 開始時期は4月～1月 (年度末は不可)
3. 5名以上で構成 (主査1名、副査1名含む)
4. 正会員が設置を提案、総合企画委員会で審査・承認
5. 会員一人が参加できるのは3つのASGまで
6. 個人会員も参加可能
7. 賛助会員はオブザーバー参加のみ
8. 必須事項：年5回以上開催、報告書提出、成果発表
9. 予算 20万円/年 会場費、講師謝金など



| ASG- | 分科会名 | ステータス | 成果物公開 |
|------|---------------|---------------|--------------------------|
| 001 | IoTと管理会計 | 終了 | ホワイトペーパー |
| 002 | データオーナーシップ | 終了→ASG-022で継続 | ホワイトペーパー |
| 003 | 経営と現場をつなぐKPI | 終了 | ホワイトペーパー |
| 004 | スマート製造標準化動向 | 終了 | ホワイトペーパー |
| 005 | AI深層学習応用 | 終了→ASG-021で継続 | ホワイトペーパー |
| 006 | ブロックチェーン活用 | 終了 | |
| 007 | 次世代BOM・BOP | 終了 | ホワイトペーパー |
| 008 | 身の丈ロボット | 終了 | ホワイトペーパー |
| 009 | ラズパイ徹底活用 | 終了 | |
| 010 | 3Dプリンタビジネスモデル | 終了 | |
| 011 | 5G先進活用 | 終了→ASG-023で継続 | ホワイトペーパー |
| 012 | センサーデータ活用技術 | 終了→ASG-020で継続 | |



| ASG- | 分科会名 | ステータス | 成果物公開 |
|------|---|-------|--|
| 014 | ARデバイス活用 | 終了 | |
| 015 | オープン&クローズ戦略 | 終了 | ホワイトペーパー |
| 016 | リアル/バーチャル融合検証システム | 終了 | |
| 017 | 汎用マイコン研究 | 終了 | |
| 018 | After/Withコロナ・New Normal を勝ちゆく新時代型SCと企業連携 | 終了 | |
| 019 | バリューチェーンとRule戦略を組合わせたビジネス戦略研究分科会 | 終了 | |
| 020 | 次世代センシングメソッド創成、創出研究分科会 | 活動中 | 活動報告書 |
| 021 | AI・データ分析活用研究分科会 | 活動中 | |
| 022 | データ主権研究分科会 | 活動中 | 報告書 、 英語版報告書 |
| 023 | 産業用5G研究分科会 | 終了 | |
| 024 | 次世代IE研究分科会 | 活動中 | |



| ASG- | 分科会名 |
|------|------------------------|
| 020 | 次世代センシングメソッド創成、創出研究分科会 |

活動方針・目標

1. IVIの真髄である『現場の困りごと解決へのIT/IoTの活用』に向けて、「現場で何をどのようにセンシングして、そのデータをどう活用すれば困りごとが解決できるか」を追究する。
2. IE的発想によるさまざまなセンサーデバイスのユースケース発掘（ディスカッション）
3. IVI業務シナリオWGに生かせるセンサーデバイスの研究と活用事例整理(資産化)
4. センサー活用を発展させたコンポーネントの創成、創出を企業間の垣根を越えて情報交換し、成長し続ける研究会活動を行う

今年度の展開

- ・最先端のIIoT技術、生成AIとIIoT連携技術、メタバース分野の講演会を随時開催
- ・情報発信の継続と業務シナリオWG連携

データ解析等のリサーチと活用評価に協力いただける方、産業用メタバースに関心・協力いただける方を募集中



| ASG- | 分科会名 |
|------|------------------------|
| 021 | AI・データ分析活用研究分科会 |

活動方針・目標

1. データ分析技術の深化と実践をターゲットとする
2. 深層学習に限定せず、古典的統計解析から波形解析、画像解析など対象に特化した解析技術を含め、課題解決に必要な技術の活用およびその深化を対象とする
3. 分析手法の高速化等を含めた実装技術についても活動の対象とする
4. CIOFの枠組みを活用したエッジコンピューティング向けAPI実装を進める
5. データ分析を専門とする外部講師による勉強会も開催したい

今年度の展開

業務シナリオWG連携により実データ解析を進め、課題解決、データ分析・プログラミングスキル向上を図る。

データ解析(時系列データ、画像データ等)にご協力いただける方を募集中



| ASG- | 分科会名 |
|------|------------|
| 022 | データ主権研究分科会 |

活動方針・目標

1. IoT時代における現場データ（ディープデータ）の権利を守りつつ活用推進を図るため、法的枠組みやビジネスモデルなどに関する議論を行い、IVIからの発信をまとめることを目的とする
2. 各社の状況をヒアリングし、ビジネス状況ごとの契約条項の内容について検討
3. 有識者の講演会を開催
4. 国内外の動向の調査により、データオーナーシップに関する動向・課題・観点などについて知見を高める
5. 上記活動を通じて、IVIとして発信

今年度の展開

- ・引き続き、成果物文書の英語化を進めて発信する。
- ・各社のヒアリングを通して、ビジネス状況ごとの契約条項の内容を検討する。
- ・有識者講演会開催

現場のデータオーナーシップの課題・取り組みを提供いただける方を募集中



| ASG- | 分科会名 |
|------|------------|
| 024 | 次世代IE研究分科会 |

活動方針・目標

1. 伝統的IE技術にIoT・AIを融合させ、“次世代IE”を形にする。
2. IE x DX” を実践している企業の工場見学会、ワークショップ(ディスカッション)開催
3. 有識者講演会 及び、経営工学(IE)を開講している大学での講義開催
4. 動向調査

今年度の展開

- ・工場見学会開催(4月)
- ・活動報告書作成(6月)

IVIの活動においてIE (Industrial Engineering) に興味・関心のある方を募集中



参加してみようかな と思ったら

会員の方

メンバーホームページから

Industrial Value Chain Initiative

メンバーホーム 業務シナリオ **グループ** ディスカッション 公開ファイル メンバー

グループ

グループ一覧

検索

活動中 ワーキンググループ プラットフォーム オープングループ 終了したグループ



- ASG-020 次世代センシングメソッド創出研究分科会
- ASG-021 AI・データ分析活用研究分科会
- ASG-022 データ主権研究分科会
- ASG-024 次世代IE 研究分科会



このワーキンググループへの参加希望の方へ

ワーキンググループへの参加には、ファシリテータの承認が必要です。参加ご希望の場合は、ファシリテータへ直接、お申し出ください。「ファシリテータ」欄のメンバープロフィールよりメッセージを送信できます。

非会員の方

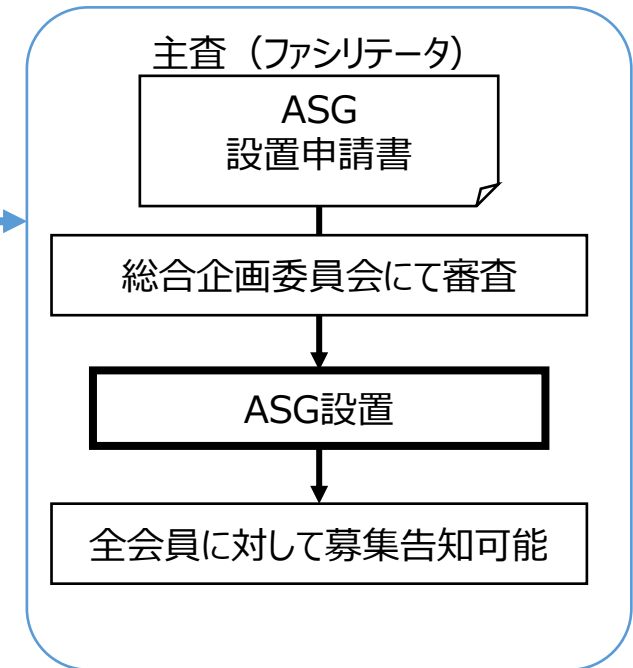
IVI事務局へ office@iv-i.org



◆ 運営原則

再掲

1. 活動は原則1年間、最大3年間
2. 開始時期は4月～1月 (年度末は不可)
3. 5名以上で構成 (主査1名、副査1名含む)
4. 正会員が設置を提案、総合企画委員会で審査・承認
5. 会員一人が参加できるのは3つのASGまで
6. 個人会員も参加可能
7. 賛助会員はオブザーバー参加のみ
8. 必須事項：年5回以上開催、報告書提出、成果発表
9. 予算 20万円/年 会場費、講師謝金など



◆お願い : 積極的にテーマアップ&参画ください

1. まず関心領域の門をたたく 【好奇心】
2. 自ら立ち上げる 【実践 & 巻き込む→ひろがる】
3. 調査・議論してムーブメントを創る 【そしてそれを現場へ】



パブリシティ活動振り返り

2016年1月6日創刊から数えて47号を発行してきました。

◆2023年度発行一覧

| No. | コンテンツ | 発行日 |
|-----|------------------------------|------------|
| 42 | 秋シンポジウム案内／業務シナリオWG紹介／新ASG紹介 | 2023-9-13 |
| 43 | 秋シンポジウム直前号①：見どころ／後援イベント紹介 | 2023-10-4 |
| 44 | 秋シンポジウム直前号②：見どころ | 2023-10-11 |
| 45 | 秋シンポジウム振り返り／SNSスタート | 2023-12-27 |
| 46 | 春シンポジウム申込開始／共催セミナー案内／活動トピックス | 2024-2-26 |
| 47 | 春シンポジウム直前号：見どころ／独アーヘン工科大交流 | 2024-3-12 |



今年度の展開

「平均して」隔月発行がこれまで → 頻度と鮮度を上げて情報提供していきます。



プレスリリースとメディア掲載 (2023年度)



| No. | 件名 | 発行日 | リンクURL |
|-----|---|-----------|---------------------------|
| 1 | IVIつながるものづくりアワード2023発表 | 2023-6-8 | 【プレスリリース】 |
| 2 | IVI未来プロジェクト2030ホワイトペーパー「未来プロジェクトからの提言」を発行 | 2024-2-1 | 【プレスリリース】 |
| 3 | CFP算出と共有に関するホワイトペーパーを公開 カーボンニュートラルのためのデータ連携サービスを開始 | 2024-3-11 | 【プレスリリース】 |

| No. | 件名 | 発行日 | メディア |
|-----|---|------------|-----------------------------|
| 1 | 生成AIによる製造現場の新たな展開 | 2023-6-25 | 日本物流新聞 |
| 2 | 中小製造業にもできる脱炭素、IVIが7社で実証を行い10万円キットの展開も開始 | 2023-10-16 | MONOist |
| 3 | 「製造現場×生成AI」、世界に遅れる“日本の製造業”は変われるか？ 識者7人が激論 | 2023-11-22 | Seizo Trend |
| 4 | 「製造現場をDX」といっても、データ化されていないものはどうするのか？ | 2024-1-17 | MONOist |
| 5 | IVI、2つの未来工場を提言した「未来プロジェクト2030ホワイトペーパー」を発行 | 2024-2-2 | IoTメディア |
| 6 | 供給網のカーボンフットプリント、IVIが算出方法標準化 中小もデータ交換簡単に | 2024-3-14 | 日刊工業新聞 |

これからも積極的にIVIのプレゼンスを高め、「つなげる」ために発信し続けます。





つながるものづくり、つなげる未来

